

## 平成30年度における発行額の減額調整について

- ◇ 当初の平成30年度大阪府債発行計画策定時に見込めなかった平成29年度決算等の資金需要の減少により、発行額を300億円減額する必要が生じた。
- ◇ 減額対応の考え方は以下の通り。

### <フレックス枠>

- 低金利の市場環境下のメリットを活かすため、超長期債の発行枠として当初予定の1,000億円を維持。

### <減額調整する年限について>

- 5年債は応募者利回り(0.001%)での発行が継続。本府はイールドダッチ方式により、応募者利回りを決定。5年債の減額によるこれ以上の調達コストの低減効果は期待しがたい。
- 一方、10年債の発行額を減額した場合には、同方式による応募者利回りの低下が一定期待できる状況。  
⇒ 以上の状況を踏まえ、減額調整は10年債により行う。

### <10年債の減額時期について>

- 地方債の供給量が増加傾向にある10月から12月は需給悪化の懸念。
- 昨年度は同時期に10年債を300億円減額。条件決定時の応募倍率が向上し、調達コストの抑制を実現。  
⇒ 今年度の減額調整についても、同時期の発行を100億円ずつ計300億円減額する。

### <参考:10年債の減額による表面利率の低下と応募倍率の向上について>

平成29年度発行月	10月	11月	12月
発行額	100億円	100億円	100億円
応募者利回り	0.195%	0.172%	0.186%
発行額を200億円とした場合の 応募者利回り(試算)	0.205%	0.190%	0.202%

平成29年度発行月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応募倍率	2.40倍	4.63倍	4.37倍	3.43倍	3.22倍	2.82倍	3.96倍